平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	病原体等管理体制整備事業		担当部局庁	健康局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林督章	
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第56条の3から第56条の38		関係する計画、通知等	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律等の施行について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定病原体等の管理規制については、病原体によるテロを防止する観点を中心として導入されたものであり、それまで病原体等の管理が研究者等の自主性に委ねられており、適正な管理体制が必ずしも確立されていない状況にあった。生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題であることから、所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・二種病原体等許可申請業務、三種病原体等届出業務 ・特定病原体等取扱施設に対する定期的な立入検査業務及び特別な立入検査業務 ・特定病原体等の盗取等又は感染事故等に対する対応 ・運搬業者を対象とした、病原体等管理についての知識を有する者を養成するための講習会の開催						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	89	82	77	75	73
		補正予算					
		繰越し等					
	計	89	82	77	75	73	
	執行額	86	80	76			
執行率(%)	96.6	97.6	98.7				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	定量的に記載できない(病原体管理の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止することが事業目的であり、具体的な目標値は設定できないため)		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的に記載できない(病原体管理の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止することが事業目的であり、具体的な活動指標は設定できないため)		活動実績(当初見込み)	—	—	—	—
				—	—	( )	( )
単位当たりコスト	— (円/—)		算出根拠	当該事業は、病原体等管理に関する強化・届出等に伴う基準の確認検査、病原体等所持者の研修会、病原体等管理システムの運用等に係るものであり、算出は困難である。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	雑役務費	63	61	病原体等管理システムについて、保守経費を見直したことによる減			
	職員旅費	5	5				
	人件費	4	4				
	物品購入費	1	1				
	印刷製本費	1	1				
	その他	1	1				
	計	75	73				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題となっており、病原体の所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制、特定病原体等取扱施設への立入検査、病原体の運搬知識を有する者の育成等により、引き続き生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図っていく必要がある。 また、病原体等管理システムにおいて取り扱う病原体所持者に関する情報は、特別管理秘密として大臣に指定されているものであり、セキュリティ対策の強化が求められている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく必要な事業であるが、予算効率化の観点から、執行状況を踏まえて必要な見直しを行うこと。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求において、病原体等管理システムに係る保守経費を見直したことによる削減をおこなった。(反映額: ▲2百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

厚生労働省
76百万円

〔
・施設基準確認検査
・事故・災害時等立入検査
〕

【一般競争入札】

A. 民間企業
63百万円

〔
病原体等管理システム運用保守
〕

【地方厚生局】

B. 地方厚生局
4百万円

〔
施設基準確認検査に
係る旅費
〕

うち事務費9百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.東芝ソリューション(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	病原体等管理システム運用保守費	63			
計		63	計		0
B.近畿厚生局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	施設基準確認検査に係る旅費	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.民間企業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東芝ソリューション(株)	病原体等管理システム運用保守業務	63	1	94%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.地方厚生局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	1		
2	関東信越厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.8		
3	九州厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.6		
4	中国四国厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.4		
5	東北厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.3		
6	東海北陸厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.3		
7	北海道厚生局	施設基準確認検査に係る旅費	0.2		
8					
9					
10					